第２５回 山形市中心市街地活性化戦略本部会議　次第

日　時：令和８年１０月２６日（月）
　　１１時００分～１２時００分
場　所：山形銀行本店ビル２階多目的ホール

１　開　　会

２　市長あいさつ

３　報　　告
・令和８年度事業の実施状況について

４　協　　議
・令和９年度事業の進め方について

５　そ　の　他

６　閉　　会

〈資 料〉
・資料１　　令和８年度事業の実施状況
・資料２　　令和８年度　出店サポートセンター新規相談者詳細（９月末まで）
・資料３　　やまがた街なか出店サポートセンター令和８年度相談者出店マップ
・資料４　　令和８年度　業種構成調査結果
・資料５　　山形市中心市街地駐車場配置図
・資料６　　令和９年度事業の進め方について

山形市中心市街地活性化戦略本部会議　出席者名簿

１　本部員

役　職　等	氏　　名	出欠
山形市長	佐　藤　孝　弘	○
山形商工会議所　会頭	矢　野　秀　弥	○
山形市中心商店街街づくり協議会　会長	船　山　隆　幸	○
山形市観光協会　会長	平　井　康　博	×
山形青年会議所　理事長	中　嶋　康　博	○
山形大学 （人文社会科学部 教授）	山　田　浩　久	○
東北芸術工科大学 （デザイン工学部建築・環境デザイン学科 教授）	馬　場　正　尊	○
認定 NPO 法人やまがた育児サークルランド　代表	野 口　比 呂 美	○
一般財団法人山形市都市振興公社　理事長	渡　邊　　俊	○

２　山形市中心市街地活性化戦略推進コーディネーター

役　職　等	氏　　名	出欠
まちづくりプラン研究所　代表	牧　　昭　市	○

【資料1】

令和８年度事業の実施状況
報告資料

令和８年１０月２６日

令和８年度の事業の実施状況

1. やまがた街なか出店サポートセンター事業

（1）実　績（令和8年4月～令和8年9月）※【資料2】参照

令和8年9月末時点までの相談件数は、物価高騰の影響等により、前年同期比で若干の減少となっている。

① 相談件数（延べ件数） 内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R8	33	31	32	31	26	26							179
R7	21	27	41	35	40	37	29	21	20	25	16	37	349
R6	37	44	44	29	23	12	28	35	22	15	24	19	332

〈各年度9月末時点件数〉　R8年度：179　R7年度：201　R6年度：189

（参照）相談内容の内訳（令和8年度）

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
相談対応回数			33	31	32	31	26	26	179
来所対応	新規来所		3	1	3	4	0	1	12
	再来所		3	6	5	6	3	2	25
	電話	相談者	5	6	5	8	11	8	43
		不動産業者・支援機関	1	7	4	1	3	5	21
	不動産オーナー		2	0	3	0	0	0	5
	金融機関・不動産業者		1	2	2	0	0	2	7
	その他		4	2	2	3	2	1	14
所外対応	内見		1	2	2	0	0	1	6
	現場打合せ（店舗訪問）		6	4	5	8	5	5	33
	市（創業ゼミなど）		1	4	0	0	0	0	2
	商工会議所・金融機関		6	0	1	1	2	1	11

【主な相談対応内容】

・出店相談者
物件情報、補助金活用、事業計画書作成相談、
出店に向けた準備に関する相談など

・不動産事業者、金融機関
空き物件情報の提供・照会、商談中相談者の進捗状況
について等

・物件オーナー
自社物件の貸出や利活用について

② 相談者新規出店数　内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R8	2	2	0	0	3	0							7
R7	1	0	1	1	1	0	1	0	2	1	0	1	9
R6	1	0	3	1	0	1	1	0	2	0	1	1	11

〈各年度9月末時点出店数〉　R8年度：7　　R7年度：4　　R6年度：6

（各年度内訳）

・R8年度 ： 飲食業 6件、小売業 1件 （9月末まで）※【資料3】参照

・R7年度 ： 飲食業 8件、サービス業 1件

・R6年度 ： 飲食業 8件、小売業 3件

【参考】 中心市街地エリア全体の出店数（山形エリアマネジメント調べ）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R8	8	3	3	6	3	5							28
R7	6	2	1	9	1	4	15	6	10	1	2	2	59
R6	5	5	7	4	4	4	2	6	7	1	2	4	51

〈各年度9月末時点出店数〉　R8年度：28　　R7年度：23　　R6年度：29

（各年度内訳）

・R8年度 ： 飲食業 20件、小売業 5件、その他生活関連サービス業 3件（9月末まで）

・R7年度 ： 飲食業 46件、小売業 3件、その他生活関連サービス業 3件、賃貸業 2件、教育 1件、娯楽　2件、医療 2件

・R6年度 ： 飲食業 39件、小売業 5件、その他生活関連サービス業 6件、娯楽　1件

(2)空き店舗数（令和8年9月末現在）

毎月月末に下記の調査範囲において空き店舗調査を実施している。調査結果は下表の通りとなっており、前年同期比で約1.5%の減少となっている。

調査範囲：山形市中心商店街街づくり協議会加盟9商店街、
旅篭町新道商店会、七日町新道商店街振興会、七日町仲通り商店会のエリアのうち、通りに面した建物の1、2階部分の空き店舗

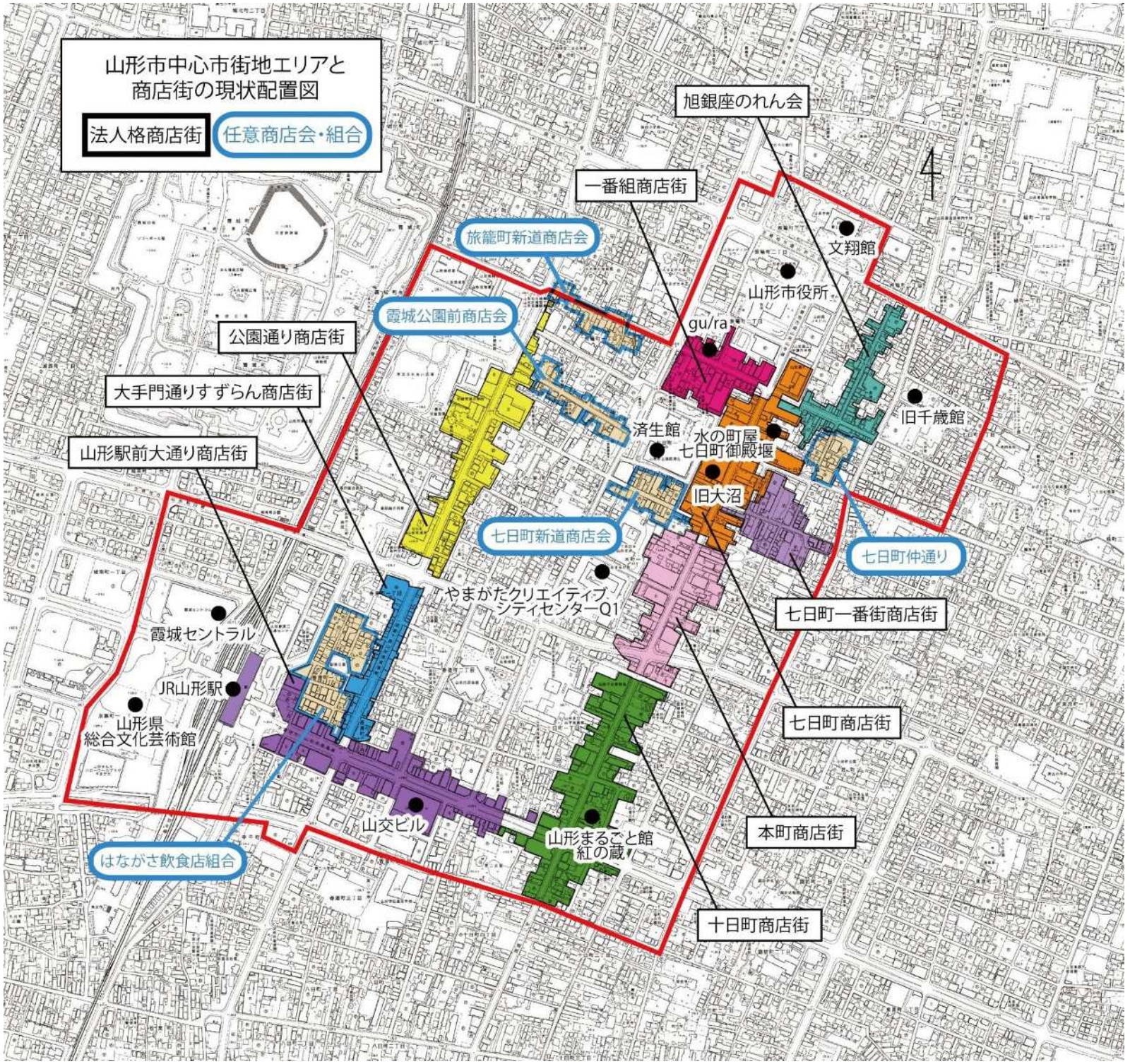
※p.4【参考】を参照。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
紹介可能物件	1階	39	34	34	31	31	31						
	2階	38	33	33	35	34	34						
空き店舗数合計		76	67	67	66	65	65						
物件数合計		776	771	768	773	771	771						
空き店舗率(%)		9.9	8.7	8.7	8.5	8.4	8.4						

※ 令和7年度空き店舗数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
紹介可能物件	1階	27	28	28	42	42	40	40	39	40	41	41	40
	2階	39	41	40	41	36	36	36	34	34	35	35	38
空き店舗数合計		68	69	68	83	78	76	76	73	74	76	76	78
物件数合計		767	763	761	772	772	769	768	773	774	777	774	775
空き店舗率(%)		8.9	9.0	8.9	10.8	10.1	9.9	9.9	9.4	9.6	9.8	9.8	10.1

【参考】


山形市中心市街地エリアと
商店街の現状配置図
法人格商店街
任意商店会・組合
旭銀座のれん会
一番組商店街
旅籠町新道商店会
霞城公園前商店会
公園通り商店街
大手門通りすずらん商店街
山形駅前大通り商店街
七日町新道商店会
七日町仲通り
七日町一番街商店街
七日町商店街
本町商店街
十日町商店街
はながさ飲食店組合
文翔館
山形市役所
gu/ra
旧千歳館
水の町屋
七日町御殿堰
旧大沼
済生館
やまがたクリエイティブシティセンターQ1
霞城セントラル
JR山形駅
山形県
総合文化芸術館
山交ビル
山形まるごと館
紅の蔵

2. テナントリーシング事業

中心市街地にある空き店舗に対し、エリアや物件の特性に合った街なかの魅力向上に繋がるテナントや企業の誘致活動を行う。

（1）企業訪問等（6月）

旧大沼跡地の再開発事業を担当する山形市まちなみデザイン課と連携し、ヒアリングを行った。

【ヒアリング先】

A社（娯楽業）…全国展開を行っている娯楽業の企業

【出店意向に関するヒアリング結果】

・現在全国の各都道府県（特に東北）に出店の計画をしているため、山形県内への出店も前向きに検討している。
・現段階では具体的な出店判断には至らないものの、継続的な情報提供を希望している。

【その後のフォローアップ】

・店舗開発担当とメールでやり取りし、山形市で出店する場合のより詳細な展望や感想等について情報交換した。
・今後も、情報交換を行いながら、段階的に山形市中心市街地内の出店について検討を進めていただくこととなった。

（参考）出店意向調査（令和7年度実施）

出店意向調査等を実施し、中心市街地への出店可能性について、適宜ヒアリングと企業訪問を行いながら出店につなげる。

【意向調査先企業の条件】

・信用調査会社が定める企業点数　50点以上
・本社所在地が山形市を除く全国のフランチャイズ本部及び、加盟店
・設備投資又は店舗拡大の意向がある
・業種（各種商品小売業、織物・衣服・身の回り品小売業、飲食料品・小売業、その他の小売業、飲食店、娯楽業　等）

3. チャレンジスポット等創出事業

（1）公益的施設の活用（学生等連携事業） 11月頃～

大学コンソーシアムやまがたと連携し、山形銀行本店ビルの公益的空間の活用について、学生が主体的に企画する活動を支援する予定。

学生の参画により、新たな賑わい創出、地域との交流促進の場として活用を図る。

※大学コンソーシアムやまがた…産学官金医の連携により、課題解決や新たな価値の創出を目指す「やまがた社会共創プラットフォーム」の運営事務局。



4. 街なか情報収集・発信事業

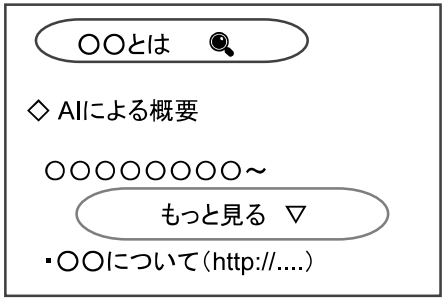
（1）「はい！やまがたでした！」のサイト閲覧件数

（平成30年7月12日開始）

総閲覧件数は、昨年度に比べ減少しているが、その中でもイベントに関する記事の閲覧件数は多い状況。毎年開催のイベント告知のほか、新規で掲載したイベントも。

閲覧件数減少の要因として、インスタグラム等のSNS、AIによる概要表示（ゼロクリック検索）で情報収集していることが推測される。

※ゼロクリック検索のイメージ ▷



（2）「はい！やまがたでした！」のインスタグラム

新規出店に関する情報のほか、中心市街地のイベントに関する情報や店舗発信の情報をストーリーズ機能なども併用しながら、ホームページにはないインスタグラムの機動性を活用することで、街なかのリアルタイムの情報を網羅的に発信し、フォロワー数増加を図っていく。

フォロワー数：2,660フォロワー（前年度比較+210）

（令和8年9月末時点）

	総閲覧件数		1日平均閲覧数	
	R7	R8	R7	R8
4月	7,559	7,324	251	244
5月	13,519	6,618	436	213
6月	5,686	4,758	189	159
7月	7,375	7,208	238	238
8月	12,949	7,152	418	230
9月	13,124	14,790	437	493
10月	10,939		353	
11月	6,540		218	
12月	4,659		150	
1月	10,689		345	
2月	4,425		158	
3月	5,712		184	
合計	103,176		（平均）283	

※4月　霞城観桜会

※5月　スプリングフェスティバル／はたらく車大集合、「日本一美酒県 山形」フェア

※7月　願いちょうちん、花笠まつり

※8月　花笠まつり、山形大花火大会

※10月　街なか賑わいフェスティバル、ちょい呑み！昼どきバル

5. 各種調査事業

（1）中心市街地における業種構成調査　※【資料4】参照

中心市街地内の商店街エリアにおける1～2階の店舗の業種構成の調査を行った。

【調査期間】 令和8年5月

【調査対象】 中心市街地エリア内の商店街エリアにおける1～2階店舗＋大型店のテナント

【調査方法】 目視等による調査

【調査対象】 業種（物販、飲食、サービス　等）

【調査結果】 全体1,236件

【結果概要】

年度	①物販	②飲食・昼	③飲食・昼夜	④飲食・夜	⑤サービス	⑥生活関連	⑦教育	⑧医療福祉	⑨駐車場	⑩宿泊	⑪娯楽	⑫観光	⑬空き店舗	⑭事務所系	⑮その他	合計
R4	272	30	103	342	60	60	21	34	107	14	15	1	129	109	15	1,312
R5	259	26	100	337	65	60	22	33	106	4	13	1	98	117	15	1,266
R6	255	25	87	334	66	62	22	32	106	13	14	1	111	120	11	1,259
R7	253	20	91	340	63	65	20	34	107	14	16	1	100	129	11	1,264
R8	235	21	92	362	58	63	20	30	97	15	19	1	77	134	12	1,236
前年比	92.9%	105.0%	101.1%	106.5%	92.1%	96.9%	100.0%	88.2%	90.7%	107.1%	118.8%	100.0%	77.0%	103.9%	109.1%	97.8%

（2）駐車場調査

中心市街地内の駐車場の位置や、料金、形態（月極・時間貸し等）を調査

【調査期間】 令和8年6月

【調査対象】 中心市街地エリア内における駐車場

【調査内容・結果】【資料5】を参照

（参考）中心市街地における各種事業の展開について

■まちづくりの取組のイメージ

歩いて楽しいまち × 住みやすいまち

御殿堰や文翔館の景観を活かした取組を推進



霞城公園の整備（～令和15年度）



新たな済生館の整備



旧大沼周辺エリアの一体的な開発
（第1期：～令和16年度予定）
（第2期：～令和22年度予定）



「日本一の観光案内所」の整備
（～令和11年頃予定）

公共空間の活用：■で示すエリア
コミュニティサイクルの設置：●



来街者の集客や道路空間を活用した取組を推進





御殿堰の延長整備



新市民会館の整備
（～令和12年度）



山形銀行新本店ビル
（令和8年7月オープン）



旧千歳館エリア・リノベーション
（～令和8年度）



居住の推進
（令和8年11月）



クリエイティブシティセンターQ1の活用



粋七エリア整備・街路事業
（～令和9年度予定）

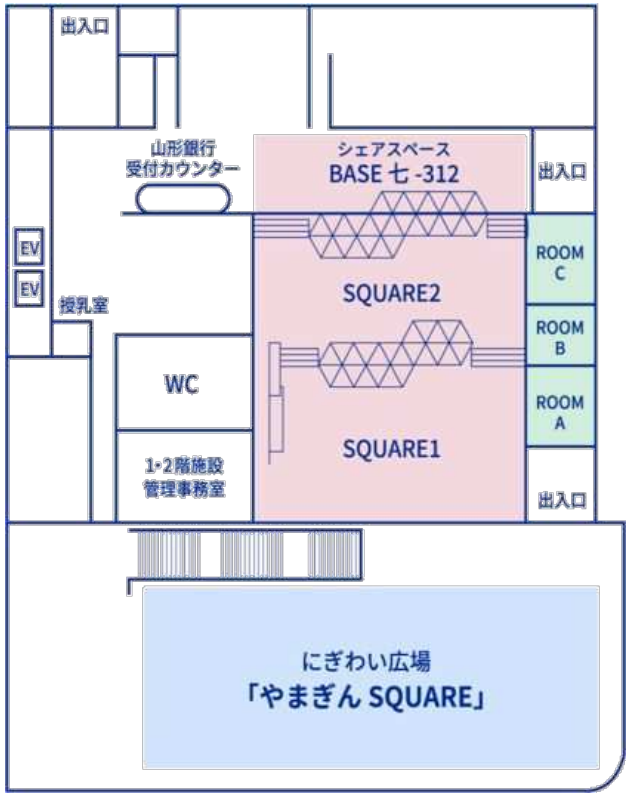
参考1　山形銀行本店ビル公益的施設の活用について

① 概要

山形銀行本店ビルの公益的施設について、一般社団法人山形エリアマネジメントが管理・運営している。

【にぎわい広場（やまぎんSQUARE）での主な活用例】

実施日	内容
8月4日	山ラー大使就任式
8月4日	花笠クラフトマルシェ
8月4日～8月7日	フードマルシェ
8月6日～8月7日	河北町物産市
9月4日	やまがた秋の芸術祭オープニングフェスタ
9月16日	第３８回七日町一帯ドリンクテーリング（受付場所）
10月10日	クラフトビール祭り2026
10月11、12日	ちょい呑み！昼どきバル2026



山ラー大使就任式の様子



花笠クラフトマルシェの様子



やまがた秋の芸術祭OPフェスタの様子



七日町一帯ドリンクテーリングの様子



▼料金等詳細

参考2　山形銀行本店ビルにぎわい広場の大型ビジョンの活用について

①　概要

にぎわい広場（やまぎんSQUARE）に設置された大型モニターについて、一般社団法人山形エリアマネジメントが管理・運営している。

②　利用料金

■ 月額プラン　・料金：30,000 円／月（税込）毎月 1 日から月末までの 1 か月間となります。
■ 日額プラン　・料金：　1,500 円／日（税込）　イベント向け 最低 7 日間から。任意の期間をお選びいただけます。

【大型ビジョンの主な活用例】

実施日	内容
7月22日～	商店街リレー動画（七日町商店街・一番組商店街・旭銀座のれん会）
7月22日～8月7日	花笠まつり協賛企業広告
8月4日～	自治体PR動画（県内 9 自治体）※自治体によって順次放映
8月4日	山ラープロモーション動画
8月5日～	東北楽天ゴールデンイーグルス試合放映
10月1日～	山形県（のばそう健康寿命　健康診査編）
―	その他、広場のイベントと連動したPR画像　等

商店街リレー動画の様子



自治体PR動画の様子



▼料金等詳細（要項）

参考3 すずらん通りにおける「魅力的な歩行者空間創出事業」等の実施について

① 概要

すずらん商店街振興組合が主体となり、歩行者天国の開催や商店街内の歩道をテラス席として開放することで、歩きたくなる・歩いて楽しい歩行者空間を演出し、来街者の滞留時間の延長を図るとともに、駅前エリアの賑わいを創出する。

② 事業内容

【ストリートサイド・オアシス＋80】

歩道の一部（民地境界線から80cmの幅員）をテラス席や休憩スペースとして活用、歩いて心地よい街並みづくりを目指す。

【すずらん日和（歩行者天国）】

商店街業種構成の大半を夕方から営業する飲食店が占めている状況から、歩行者天国を午後に開催し、日中の来街者を呼び込み、夕方以降の飲食店等のビジネスチャンスを増やし、飲食店営業時間帯の拡大を図る。

③ 実施日・イベント開催内容

実施日	開催内容
7月18日 ～10月25日	ストリートサイド・オアシス＋８０ （歩道のテラス利用）
7月18日	ひとくちグランプリ2026
9月 5日	みちのく阿波おどり2026 in 山形
9月19日	昼飲みストリート

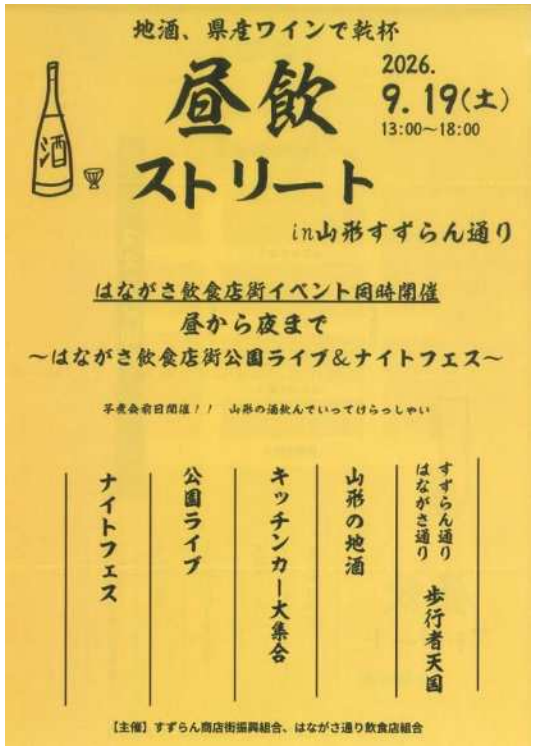
みちのく阿波おどりの様子



ひとくちグランプリ



昼飲ストリート



参考4　山形市コミュニティサイクル「ベニちゃり」について

市内各所に設置されたサイクルポート間で、電動アシスト自転車を自由に利用できるシェアサービス。
スマホ等を使った簡単な手続きで、24時間自由に借りて自由に返却できる自転車貸出サービス（有料）。

①主なサイクルポート　96箇所（令和8年9月30日現在）

山形駅周辺、北山形駅、羽前千歳駅、楯山駅、蔵王駅、
市役所、Q1、紅の蔵、文翔館、遊学館、
霞城公園（美術館前）、公民館、イオン南・北、
道の駅やまがた蔵王、山形大学、済生館、
JA山形市（本店・支店）など



②車両数　301台（令和8年9月30日現在）

③アプリ登録者数　42,680名（令和8年9月30日現在）

【参考】中心部の設置箇所





参考5　粋七専用ウェブサイトの開設について

① 概要

粋七エリアのさらなる認知度向上やブランドイメージの定着を図るため、粋七専用ウェブサイトを開設。

② 掲載内容

（1）粋七とは　　（粋七エリア整備事業の概要）
（2）粋七まちづくり（まちづくりにおける7つのポイント）
（3）店舗情報　　（新規出店者の情報）
（4）賃貸情報　　（空地や空きテナントの情報）
（5）インタビュー　（地権者の声）
（6）お知らせ　　（イベント開催、店舗情報や賃貸情報等の新着情報）
（7）アクセス　　（公共交通機関や自家用車でのアクセス方法）

整備エリア



イメージ





IKINANA
NANOKAMACHI,
YAMAGATA

▼二次元コード

参考6　新市民会館の整備について

【新市民会館の目指すべき姿】

①文化芸術活動の拠点の継承・発展
②賑わいの創出
③創造都市やまがたの推進
④周辺施設との調和
⑤感染症対策を備えた施設
⑥次世代のニーズへの対応
⑦災害への対応
⑧ユニバーサルデザイン・バリアフリー化

【施設概要】

大ホール（1,205席）、小ホール（300席）、
スタジオ、展示ギャラリー、会議室、交流ラウンジ、
ドキュメンタリー映画フィルムライブラリー、防災備蓄倉庫　等

【今後のスケジュール（予定）】

令和　7年度　　設計（～令和8年8月）
令和　8年度　　建設（令和8年10月～令和12年12月）
令和13年度　　新市民会館 グランドオープン



参考7　旧千歳館のエリア･リノベーションについて

「伝統文化の継承と癒しの空間創造による賑わい創出及び交流人口の拡大」
～国登録有形文化財（旧料亭）の利活用～

１４０年もの間、料亭として市民に親しまれてきた「旧千歳館」。市が寄附を受けた国登録有形文化財の建物や、四季折々の表情で客をもてなしてきた庭園を活用し、街なか観光の一拠点として周辺エリアへも賑わいを波及させる施設へと整備していく。

目標
･山形市の芸妓文化と料亭文化を守り、次世代に継承する場とする
･山形市の歴史を物語る大正･昭和のロマンと文化の薫る場とする
･まちなか観光の一拠点として、街並みを彩り賑わいを創る場とする
･人々が集い、四季折々の自然あふれる憩いの場とする



■整備方針（優先交渉権者の主な提案内容）

旧千歳館の建物や庭園の歴史ある佇まいを保存しながら、
公園･宿泊･飲食店･文化観光発信機能を配置



▲改修後の離れ（ちとせ）及び本館イメージ
（花小路側から建物を望む）

■経過･スケジュール

令和4年7月	旧千歳館の建物等を山形市が寄附受納
令和5年3月	公募型プロポーザルにより優先交渉権者決定 連携協定･基本設計業務委託契約締結
令和5年度	事業実施に向けた協議（提案内容のブラッシュアップ）、基本設計完了
令和6年度	実施設計完了、旧千歳館エリア活性化計画作成
令和7～8年度	建物改修工事、公園整備工事
令和9年度	供用開始（予定）

参考8　日本一の観光案内所について

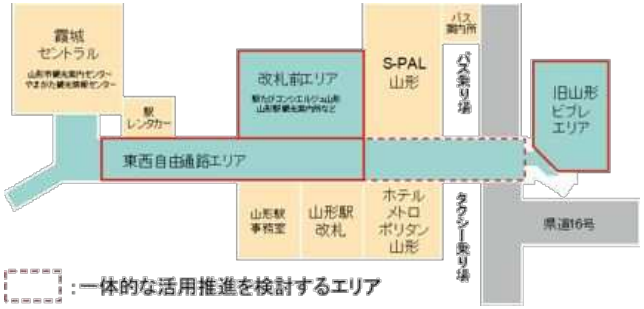
「暮らしと観光がつながる」をコンセプトに、来訪者・観光事業者・地域住民が交わる架け橋となり、山形の観光の価値を共創していく「共創型交流拠点」として、新しい観光案内所（日本一の観光案内所）の整備を進めている。令和8年3月には、具体的な整備方針として「日本一の観光案内所」基本計画を策定した。

山形市が目指す「日本一の観光案内所」について

「来訪者に山形の旅を最高に楽しんでいただく」という目的に向け、「最高のおもてなし」をするため、様々な取組で「日本一」を目指し、発展し続ける観光案内所とする。

「日本一の観光案内所」の整備エリア及び連携施設について

整備エリアの現状配置図



エリア展開の考え方

エリア	エリアの概要
改札前エリア（山形フロント）	**“イマ”が変わる旅のフロントラウンジ**
東西自由通路エリア（山形ストリート）	**山形の現在がわかるメディアストリート**
旧山形ビブレエリア（山形ハブ）	**クリエイティブに編集された山形の魅力に触れる拠点**

事業経過

R6.11月　　基本構想策定

R8.　3月　　基本計画策定

R8年度　　基本設計等業務　　※R11年頃の供用開始を目指す

改札前エリア（山形フロント）

構成ゾーン　案内カウンター　物販　待合ラウンジ

＜イメージパース＞





東西自由通路エリア（山形ストリート）

構成ゾーン　交流・催事　リアルタイム情報発信　伝統・文化展示

＜イメージパース＞





旧山形ビブレエリア（山形ハブ）

構成ゾーン　観光案内ゾーン　飲食ゾーン　物販ゾーン　ライブラリー／オフィスゾーン

＜イメージパース＞





参考9　旧大沼周辺の再開発について

将来、中心市街地の活性化をけん引する地域となるよう、旧大沼を含む周辺エリア一帯の再開発を検討

再開発に向けた基本構想の策定（令和８年３月）

再開発準備組合の設立（令和８年４月）

名　　称：旧大沼周辺地区市街地再開発準備組合
会　　員：旧大沼～TAN6SQUAREビルの全ての地権者

具体的な事業計画（基本計画）の検討に着手
（民間事業者ヒアリング等を行いながら施設計画等を検討）

＜想定事業スケジュール＞

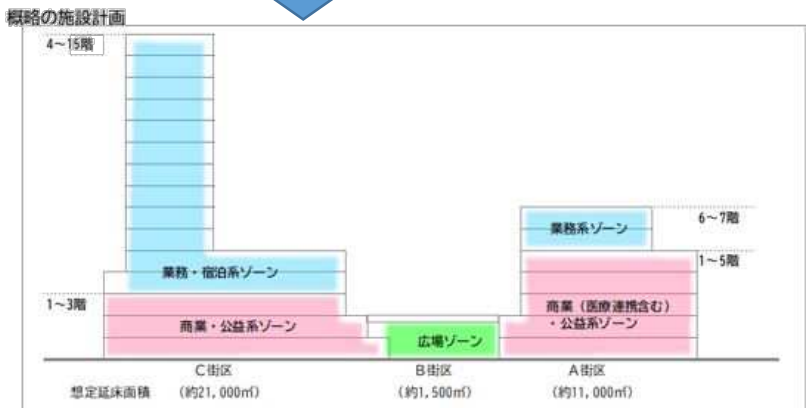
令和　8年度：基本計画策定
令和10年度：基本設計
令和11年度：実施設計
令和13年度：第1期解体工事開始
令和16年度：第1期竣工（A街区）　→早期にオープン
令和17年度：第2期解体工事開始
令和22年度：第2期竣工（B・C街区）



旧大沼エリアが目指すべき姿

基本的な考え方
①まちの歴史や文化の継承・発展
②エリアの強みを生かす
③人の生活を支え、日常や非日常を過ごす、
　くらしの晴れの場
④中心市街地の回遊や滞在の拠点となり、
　賑わいをまち全体につなげる
「歩くほど幸せになるまち」を象徴する開発





【資料2】

令和8年度出店サポートセンター新規相談者詳細（令和8年9月末現在）

1，性別

No	性別	合計
1	法人	7
2	男性	5
3	女性	4
合計		16

2，年齢

No	性別	合計
1	法人	7
2	50代	3
3	40代	3
4	30代	2
5	60歳以上	1
6	29歳以下	0
合計		16

3，出店形態

No	出店形態	合計
1	新規創業	5
2	多店舗展開	4
3	移転（エリア内外）	2
4	第二創業	2
5	拠点整備	1
6	再出店	1
合計		15

＜補足＞

新規…出店にあたり開業届を提出するもの

多店舗展開…企業・個人が同業種で新たな店舗を出店

移転…山形市中心市街地エリア内外から店舗を移転し出店

第二創業…既存の企業が新たに別業種で店舗を出店する

拠点整備…すでに創業しており、新たに店舗を構える出店

再出店…一度閉店し期間をおいて改めて同店舗を出店

4，業種

No	業種	合計
1	飲食店	10
2	小売業	2
3	生活関連サービス	1
4	宿泊業	1
5	理美容業	0
6	不動産業	0
7	医療	0
8	その他	1
合計		15

5，出店したい希望のエリア

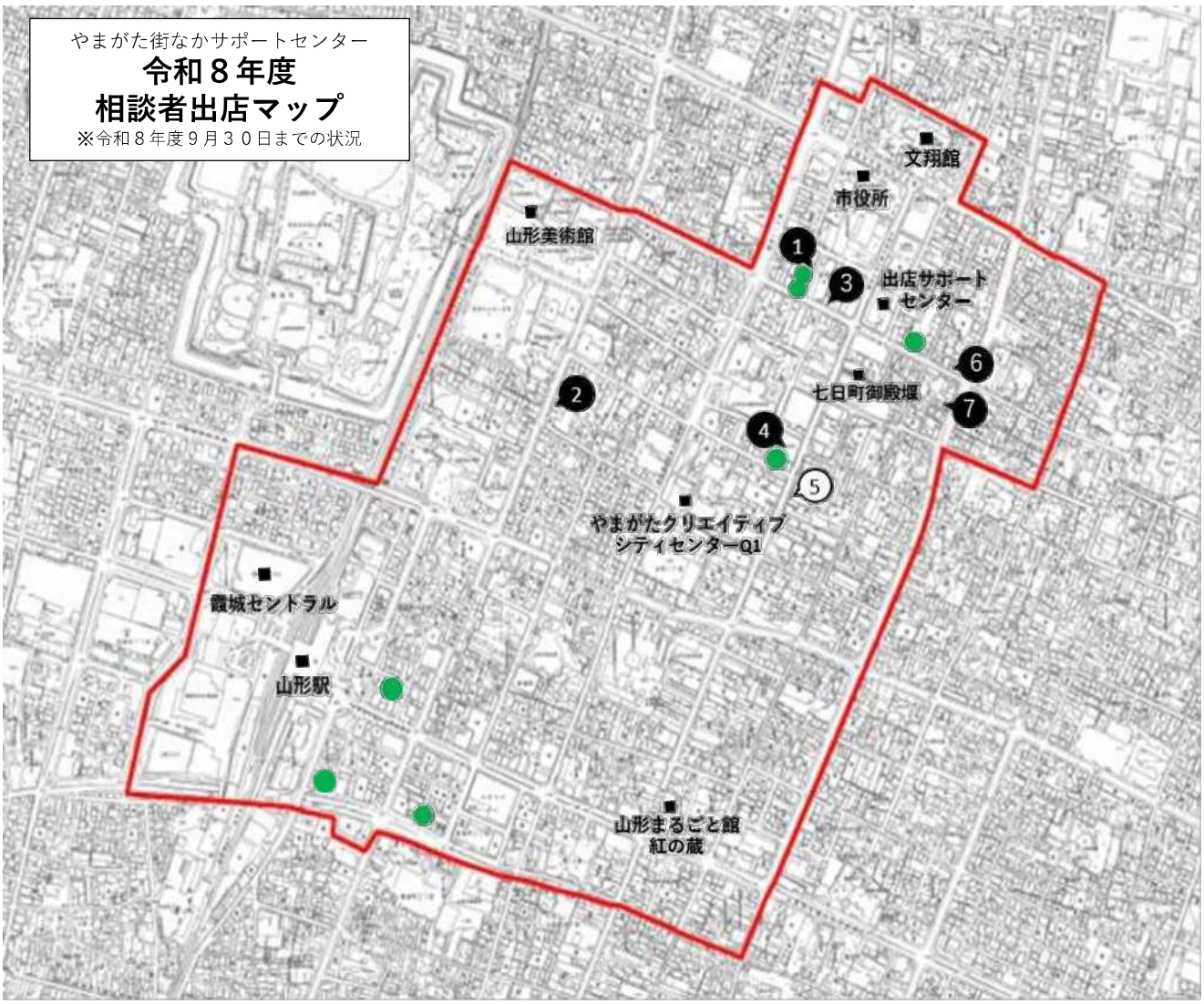
No	第一希望エリア	合計
1	七日町	7
2	山形駅前	4
3	中心市街地全域	1
4	山形市郊外	1
5	十日町	1
6	旅篭町	1
7	本町	0
8	公園通り	0
合計		15

6，主な相談内容

・活用できる補助制度（補助金、助成金）が知りたい。	8
・空き物件の情報や、物件を借りる時のポイントを知りたい。	5
・融資や事業計画について相談したい。	3
・中心市街地の概況について知りたい。	1
・自身の物件への入居者について相談したい。	1

※評価委員会開催件数　3件（内訳　推薦相当1、推薦不相当2）　1,606,000円

【資料３】



1	おばんざい紅日和	（４月 居酒屋）	◎
2	スタンドバーNERINE	（４月 立ち飲み屋）	◎
3	ダイニングBAR　Correr	（５月 バー）	◎
4	Salon de Trois	（６月 婦人服販売）	□
5	Day & Coffee 本町七日町店	（８月 カフェ）	◎
6	ロック筆談カフェ ブアイソウ	（８月 カフェ）	◎
7	BAR　Negroni	（８月バー）	◎

◎ 飲食業	6件
□ 小売業	1件
合計	7件

令和7年度
● 相談者出店店舗　7件

※令和６年度相談者出店店舗　11件

：補助金活用あり（1件）
：物件紹介等の支援のみ（6件）

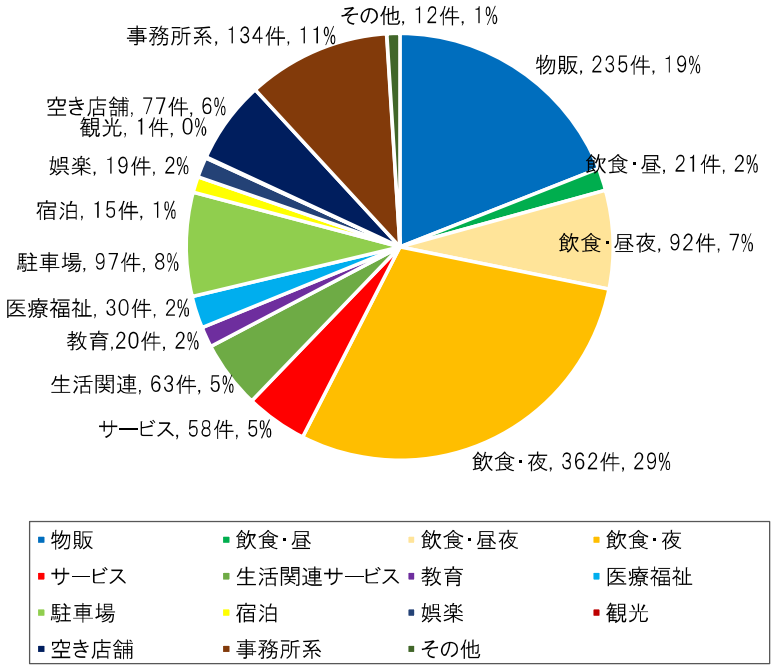
令和8年度　業種構成調査結果

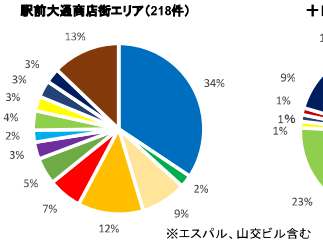
【資料4】

令和8年度中心商店街＋大型店

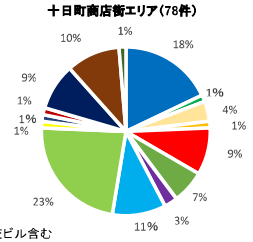
【調査日】令和8年5月末時点
【調査対象】中心市街地内の商店街エリアにおける1～2階の店舗等
※大型店は全フロア

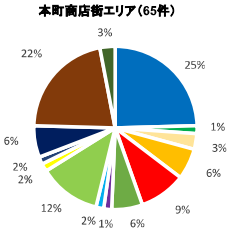
全体（1,236件）

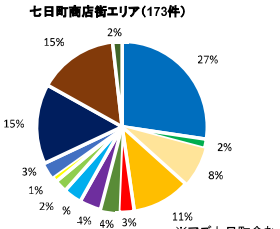




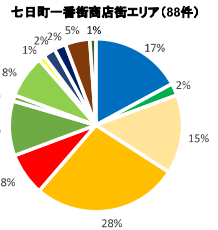
※エスパル、山交ビル含む

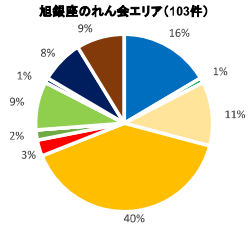


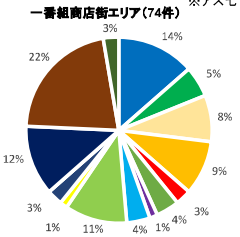


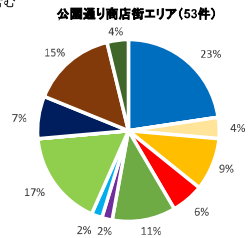


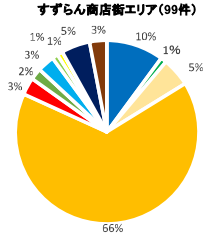
※アズ七日町含む

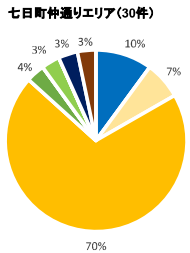


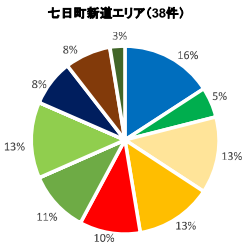


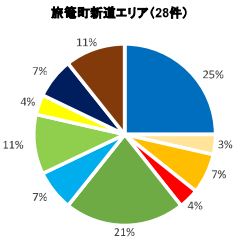


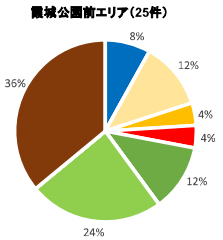


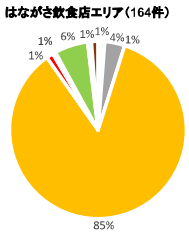








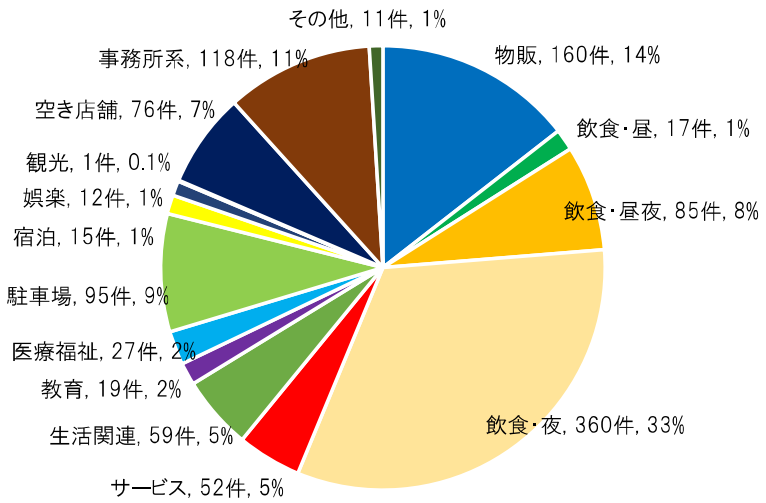


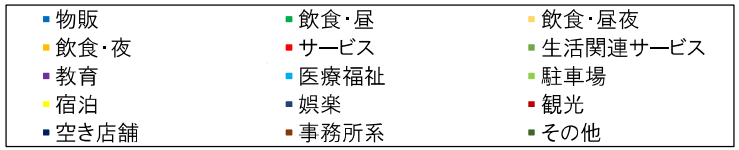


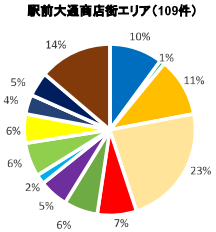
年度	①物販	②飲食・昼	③飲食・昼夜	④飲食・夜	⑤サービス	⑥生活関連	⑦教育	⑧医療福祉	⑨駐車場	⑩宿泊	⑪娯楽	⑫観光	⑬空き店舗	⑭事務所系	⑮その他	合計
R4	272	30	103	342	60	60	21	34	107	14	15	1	129	109	15	1,312
R5	259	26	100	337	65	60	22	33	106	4	13	1	98	117	15	1,266
R6	255	25	87	334	66	62	22	32	106	13	14	1	111	120	11	1,259
R7	253	20	91	340	63	65	20	34	107	14	16	1	100	129	11	1,264
R8	235	21	92	362	58	63	20	30	97	15	19	1	77	134	12	1,236
前年比	92.9%	105.0%	101.1%	106.5%	92.1%	96.9%	100.0%	88.2%	90.7%	107.1%	118.8%	100.0%	77.0%	103.9%	109.1%	97.8%

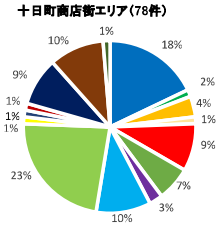
令和8年度中心商店街のみ

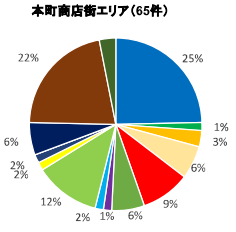
全体(1,107件)

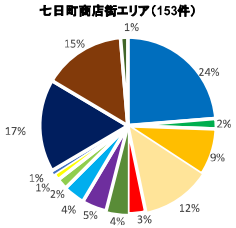


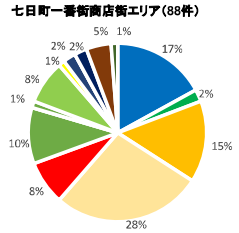


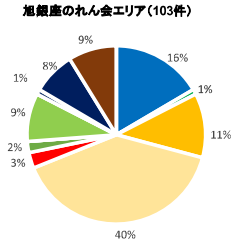


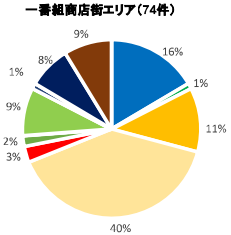


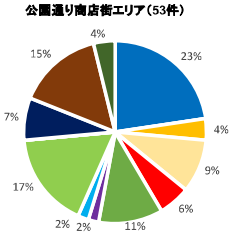


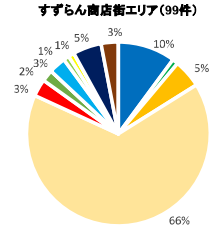


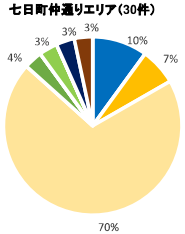


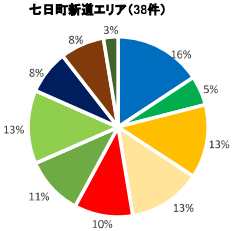


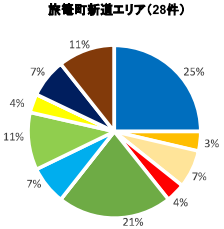


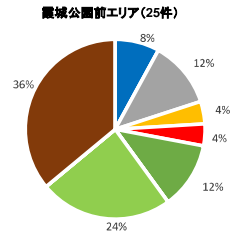


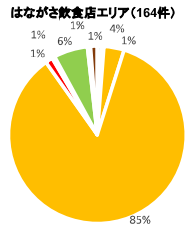








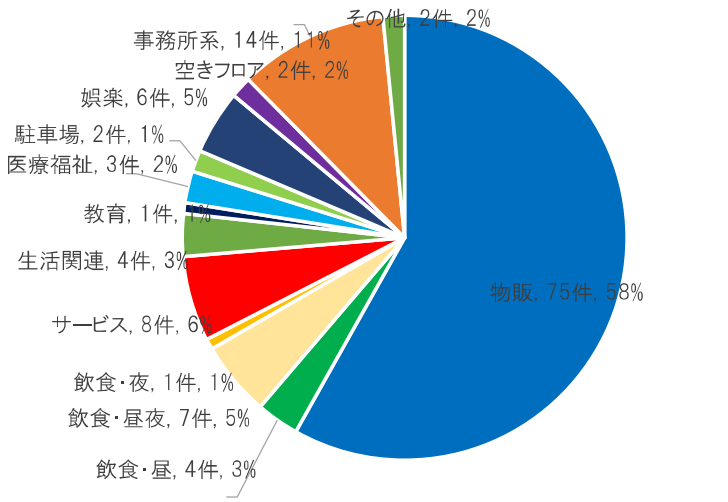


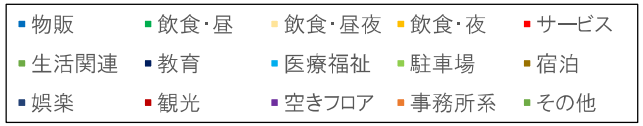


年度	① 物販	② 飲食･昼	③ 飲食･昼夜	④ 飲食･夜	⑤ サービス	⑥ 生活関連	⑦ 教育	⑧ 医療福祉	⑨ 駐車場	⑩ 宿泊	⑪ 娯楽	⑫ 観光	⑬ 空き店舗	⑭ 事務所系	⑮ その他	合計
R4	191	26	97	342	54	56	19	31	105	14	11	1	123	97	12	1179
R5	182	22	94	336	58	57	20	30	104	14	9	1	92	110	13	1142
R6	180	21	81	333	60	58	20	29	104	13	9	1	106	105	9	1129
R7	178	16	80	341	58	61	19	31	103	13	11	1	83	109	10	1114
R8	160	17	85	360	52	59	19	27	95	15	12	1	76	118	11	1107
前年比	89.9%	106.3%	106.3%	105.6%	89.7%	96.7%	100.0%	87.1%	92.2%	115.4%	109.1%	100.0%	91.6%	108.3%	110.0%	99.4%

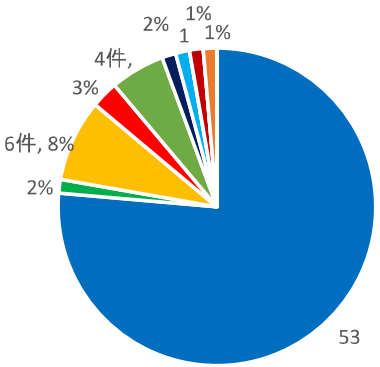
令和8年度大型店のみ

全体（129件）

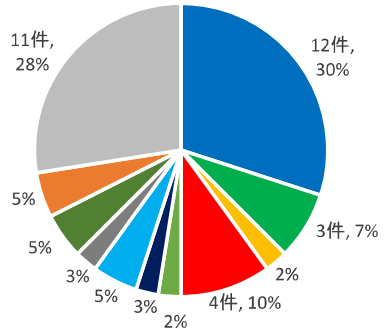




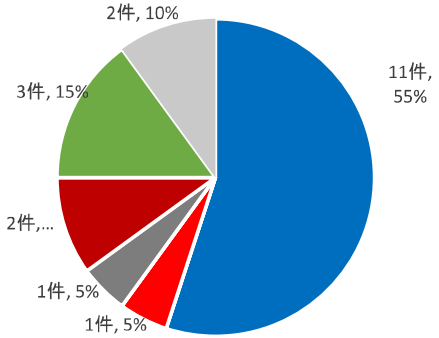
エスパル山形（68件）



山交ビル（41件）



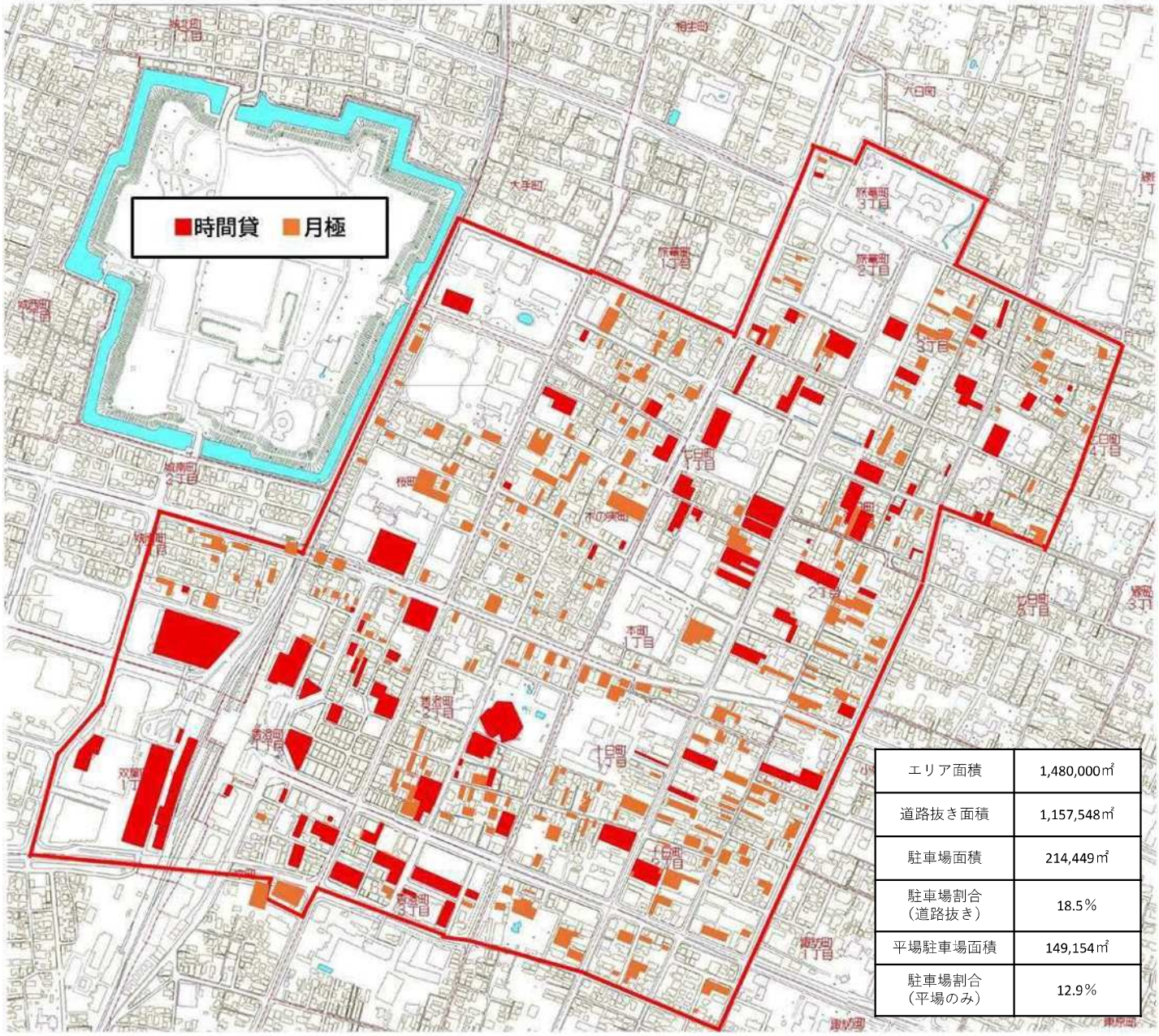
アズ七日町（20件）



年度	①物販	②飲食･昼	③飲食･昼夜	④飲食･夜	⑤サービス	⑥生活関連	⑦教育	⑧医療福祉	⑨駐車場	⑩宿泊	⑪娯楽	⑫観光	⑬空きフロア	⑭事務所系	⑮その他	合計
R4	80	4	6	0	6	4	2	3	2	0	4	0	6	12	2	1179
R5	77	4	6	1	7	3	2	3	2	0	4	0	6	15	2	1142
R6	75	4	6	1	6	5	2	3	2	0	5	0	5	14	2	1129
R7	78	4	6	1	7	5	2	3	2	0	5	0	3	14	2	1114
R8	75	4	7	1	8	4	1	3	2	0	6	0	2	14	2	1107
前年比	96.2%	100.0%	116.7%	100.0%	114.3%	80.0%	50.0%	100.0%	100.0%	－	120.0%	－	66.7%	100.0%	100.0%	99.4%

【資料５】

山形市中心市街地駐車場配置図



エリア面積	1,480,000㎡
道路抜き面積	1,157,548㎡
駐車場面積	214,449㎡
駐車場割合（道路抜き）	18.5％
平場駐車場面積	149,154㎡
駐車場割合（平場のみ）	12.9％

※面積は各駐車場公式HP等に公開されているものから算出した。

	時間貸（コインパーキング）										月極		合計	
	A社（タイムズ）		B社（リパーク）		その他		立体		小計					
	ヶ所	台数	ヶ所	台数	ヶ所	台数	ヶ所	台数	ヶ所	台数	ヶ所	台数	ヶ所	台数
全エリア	12	1,510	17	232	51	1,603	23	4,482	103	7,827	304	4,265	407	12,092
キャッシュレス対応数	（12）	1,510	（3）	54	（5）	71	（0）	0	（20）	1,635				
全体における割合	2.9%	12.5%	4.2%	1.9%	12.5%	13.3%	5.7%	37.1%	25.3%	64.7%	74.7%	35.3%	100.0%	100.0%
キャッシュレス対応割合	100.0%	100.0%	17.6%	23.3%	9.8%	4.4%	0.0%	0.0%	19.4%	20.9%				

※カッコ内の数字は、時間貸しのうちキャッシュレス決済に対応済みの駐車場

【キャッシュレス化の状況】
時間貸し駐車場のうち、キャッシュレス決済に対応している駐車場は約19％（20ヶ所）

【資料６】

【令和９年度事業の進め方について】

「山形市中心市街地グランドデザイン」の具現化に向けて、魅力的な商業空間形成のための出店サポートやテナントリーシング、また、公共的空間の活用を通じた賑わいの創出を通じて、「歩くほど幸せになるまち」の実現を目指す。

（１）やまがた街なか出店サポートセンター事業（継続）

新規出店希望者を支援し、空き店舗の解消を図るとともに中心市街地エリアに魅力的な店舗を出店させることにより、来街者の増加や回遊性・滞留性の向上を図る。

①空き店舗・空き事務所の情報収集
不動産事業者や所有者と連携し、不動産情報の収集と新規開拓を行うとともに、中心市街地空き店舗分割支援事業等の支援制度の情報提供を行う。

②新規出店予定者への情報提供及び相談
空き店舗や駐車場、中心市街地の商業トレンドなどの出店の参考となる情報を提供する。

③各種支援制度の紹介・事業計画作成支援
出店の際に活用可能な融資や補助制度などの支援制度を紹介するとともに、事業計画書の作成支援を行う。

④中心市街地エリア内の業種毎の収益状況調査・分析
商業トレンドの把握と業種業態毎の収益状況調査を実施する。

⑤出店しやすい家賃設定に向けた情報交換
家賃について、借り手と貸し手に乖離がみられる場合に、不動産事業者等を通じ、出店しやすい家賃設定に向けた情報交換を行う。

⑥出店者に対するフォローアップ
出店後の経営状況の把握を行うとともに、商工会議所経営指導員と連携し事業継続に向けたアドバイスを行う。

（２）テナントリーシング事業（継続）

中心市街地内にある空き店舗に対し、エリアや物件の特性に合った街なかの魅力向上に繋がるテナントの誘致活動を実施する。

〈主な取り組み〉

①関係団体（不動産事業者、金融機関、商店街、商業施設）との情報交換
②対象物件及びその周辺エリアの「商圏分析」「市場調査」等の実施
③エリア特性や分析・調査に基づく誘致方向性の検討
④出店可能性調査に基づいた誘致企業のブラッシュアップ
⑤物件の特性に合わせたテナントの選定・企業訪問による誘致活動
⑥出店ニーズとのアンマッチ解消に向けたオーナーに対する建物整備の助言
⑦県内のフランチャイズ加盟店の調査・訪問及び本部とのマッチング

（３）チャレンジスポット等創出事業（拡充）

検討を行っていたチャレンジスポットの創出について実現を目指すとともに、活用をする担い手を発掘していくことで、若者がまちづくりに参画する機運を高める。

①出店に至っていない新規出店希望者や企業等が行うポップアップ出店に対し、チャレンジスポットの活用を提案し、チャレンジする環境を提供する。

②山形銀行の公共的空間の活用を行いながら、学生等と連携した取り組みを推進し、若者を主体とした担い手の発掘も行う。

（４）街なか情報収集・発信事業（継続）

街なか情報サイト「はい！やまがたでした！」と SNS での情報発信を継続して行う。

〈主な取り組み〉

①新規出店情報や、街なかイベント等を街なか情報サイトのトピックスや、SNS 等で発信する。

②街なか情報サイトの店舗紹介ページを整理するとともに、街なか情報サイトのトピックスで商店街毎の魅力を発信する。

（５）各種調査事業（継続）

より効果的な事業の実施に向け、中心市街地の現況把握のための各種調査を必要に応じて実施する。なお、効率的な調査手法を検討しながら調査を実施する。

〈主な調査〉

・駐車場調査　　・業種構成調査　　・市民アンケート調査　・歩行者通行量調査

（６）山形駅周辺における新たなまちづくり検討事業（継続）

山形駅周辺におけるハード整備や再開発の動きを把握し、必要に応じ関係団体への連携及び情報提供等を行う。

（７）中心市街地エリアにおける昼間交流人口増加の促進（拡充）

中心市街地における昼間交流人口の増加のため、関係団体と連携し、回遊する仕組みづくりについて検討・実施し、集客と店舗認知度の向上を図る。また、滞留時間向上を促すことで消費行動に繋げ、休日や昼間営業の収益性を向上させることで、出店しやすい環境や昼間営業店舗の増加を促す。

〈主な取り組み〉

① 小規模エリアの個店や同業態の店舗が共同して実施する集客イベント開催 PR 等支援
② 街バル等の開催による昼間飲食需要の開拓
③ 公益的施設を活用したフォトスポット設置等による冬季の回遊性促進

（８）関連事業との連携

①ウォーカブル推進事業（継続）

山形市が「ウォーカブル推進都市」として、居心地が良く歩きたくなるまちなかづくりを推進するにあたり、人々が憩い、集い、多様な活動を繰り広げられる場づくりを行っていることに併せ、来街者の回遊性・滞留性の向上を図るための官民連携をはじめとした各種事業に対して支援を行う。

②コミュニティサイクル等の交通手段を利用した回遊性向上への取組（継続）

令和４年１０月より開始された電動アシスト付自転車を活用したシェアサイクル事業について、SNS やサイト掲載等により周知を図る。

③粋七エリア整備事業（継続）

粋七エリア整備事業を推進するにあたり、出店希望者に対して事業の進捗に併せた情報提供を行うことで、効果的な事業の展開に資する。

④新たな市民会館整備事業（新規）

新市民会館の整備に際し、ソフト事業での連携や、文翔館周辺エリアウォーカブル基本構想との連携等、整備後の活用に関する連携方法を検討していく。